



わたしの夢

川俣小学校6年

小山田

悠葉ゆうか

推しからお仕事をもらおう

絵師になりたい

わたしの夢は、推しからイラスト関係のお仕事をもらえるような有名絵師になることです。私がこの夢をもったきっかけは、4年生の頃、ユーチューブを見ていて偶然流れた映像がとても可愛く「私もこんな絵を描きたい」と思ったからです。私の推しは2.5次元アイドルグループで歌い手として活動しているのですが、基本顔出しはせずに、ユーチューブやオンラインライブでの歌やダンスを中心に活動しています。そのためユーチューブではアニメーションでの演出が多く、曲ごとに複数の絵師がイラストを手掛けています。もともと絵を描くことが好きだったため、推し活を始めてからは「絵師になる」という目標をもって、より楽しく、より真剣に絵を描くことができています。絵師として有名になることも、そこから推しとお仕事することも簡単な夢ではないと思います。が、いつか声をかけてもらえるような絵師になるため、これからも絵を描き続けたいと思います。

町長のひとこと vol.52



今月は、飯坂地区の「なかいいクラブ」斎藤文字代表へお話を聞きしました。毎月第1月曜日の午前10時から12時まで活動していて、花見や芋煮会、クリスマス会、防災食の食べ方など、年間を通じて多くの行事を開催しているそうです。訪問した7月7日は「七夕まつり」を開催中で、8名の参加者で七夕飾りを作り上げたところでした。願い事の書かれた短冊が綺麗に飾られているのを見て、昔は七夕が旧暦で開催され、8月6日の夕方に子どもたちと短冊を飾り7日の夕方に片づけることが思い出されました。このような、季節の年中行事が少なくなることは地域にとって寂しいことなので、小さなことからサロンを通じて続けてもらいたいと思いました。